

猫パルボウイルス(FPV)

大阪ラボ

- 猫は猫パルボウイルス(FPV)以外に犬パルボウイルス(CPV)にも感染します。
- ★検査材料は遺伝子専用としてお送りください。
- 遺伝子以外の項目と重複している場合は必ず遺伝子用に検査を分けてください。

項目名	検査材料	送付方法	所要日数	検査方法	検査項目の説明、注意事項
FPV 遺伝子 ★	糞便 適量	常温 冷蔵	4日 以内	PCR	1.高感度に検出します(抗原検査に比べ約百倍以上高感度です)。 2.本検査はFPVとCPVを区別して検出します。 ワクチンの影響 FPV生ワクチン接種後3週間ほどは遺伝子が検出されることがあります(不活化ワクチンでは遺伝子は検出されません)。
	全血 EDTA処理 0.4mL ・ 血清・血漿 0.4mL				
FPV HI抗体	血清・血漿 0.1mL		14日 以内	HI	1.FPVワクチン未接種の幼齢犬(4ヶ月齢以下)の場合のみ本検査での感染診断が可能です。 1ヶ月齢⇒2,560以上 2ヶ月齢⇒320以上 3ヶ月齢⇒40以上 4ヶ月齢⇒10以上 2.ワクチン効果判定には下記の【結果の解釈】をご覧ください。
FPV 中和抗体検査	血清・血漿 0.3mL		14日 以内	中和試験	1.弊社VセットまたはFPV HI抗体検査でFPV抗体価が10倍または10倍未満の場合のみFPV中和抗体検査を実施させていただきます。 2.HI抗体価20倍以上の例およびFPV中和抗体検査のみについては受付できません。 3.基本的に検査材料は弊社に保存しているものを供試いたします。

●2021年1月から、FPV IgM抗体検査は中止になりました。

【結果の解釈】(ワクチン効果判定としてご利用された場合)

コメント		
FPV HI抗体	20未満	ワクチン効果が十分とは言えません。
	20~40	ワクチン効果が期待できる抗体価です。しかし、長期間の効果を期待するにはもう少し高い抗体価が望ましいでしょう。1年後にワクチンを追加接種されるか、抗体検査を実施されることをお勧めします。
	80以上	長期間のワクチン効果の持続が期待できる抗体価です。
FPV 中和抗体	32以上	現時点で防御可能な抗体価です。しかしながら、FPV HI抗体検査または猫ワクチンセット Vセットで不十分な抗体価であったことから、1年以内にワクチンの追加接種または抗体検査(まずはHI抗体検査)をお勧めします。

- ごくまれに基準値を上回る血中抗体価であっても、ストレスや、ステロイド剤や免疫抑制剤の服用により防御が十分働かないケースがあります。また、もし将来的に流行ウイルスが変異することがあれば、既存のワクチンでは十分な予防効果が期待できなくなる可能性も否定できません。
- 弊社がご提供している基準値は、過去に研究者たちが提唱した値を参考にして最も妥当と考えられる値に設定されております。また、本基準値は弊社の検査系に対するものであり、他社の検査結果には適用することができませんのでご注意ください。